

令和6年(2024年)9月吉日

各市町教育委員会教育長 様
各小中高等学校長 様
各総合支援学校長 様
各関係者の皆 様

山口県学校図書館協議会会長 山田 芳彦
山口県小教研学校図書館部部长 石丸 敬子
山口県中教研学校図書館部部长 金子 聡
山口県高教研学校図書館部部长 村山 晋一

第31回山口県学校図書館研究大会山陽小野田大会 〔第2次御案内〕

時下、皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜びを申し上げます。

さて、このたびは山陽小野田市におきまして、標記の研究大会を下記の要領により開催いたします。

つきましては、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の学校図書館に携わる教職員、子どもの本に関わる公共図書館職員や指導員等の研修の機会として、多数御参加くださいますよう、御案内申し上げます。

記

大会主題

生涯の学習基盤を支える学校図書館の在り方
～学びを広げ豊かな心を育む活動の展開～

1 期 日 令和6年11月12日(火)

2 会 場 不二輸送機ホール(〒757-0002 山陽小野田市大字郡1754 TEL:0836-71-1000)

3 大会趣旨

急速に変化する現代社会において、これからの子どもたちには多くの能力が求められています。創造性、コミュニケーション能力、問題解決能力などがその一例です。

学校図書館は学校教育の中核として位置づけられています。子どもたちの創造力を養い、興味・関心を引き出し、豊かな心を育む自由な読書活動や読書指導の場となる「読書センター」としての機能、子どもたちの主体的な学習活動を支え、教科横断的に学習内容を深める「学習センター」としての機能、必要な情報を入手・比較し、自分の意見を組み立て発信する力を育む「情報センター」としての機能など、「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けそれぞれの機能の活用がますます重要視されています。

山口県では、地域連携教育の仕組みを活かし、家庭、地域、幼保小中高が連携・協働した県民総ぐるみの読書活動を推進しています。また、「山口県子ども読書推進計画第5次計画」(2024年3月策定)においても、社会全体での読書活動の推進をはじめ、子どもの読書活動を支える人材の育成、普及啓発活動の促進を進めています。

本研究大会では「生涯の学習基盤を支える学校図書館の在り方～学びを広げ豊かな心を育む活動の展開～」を大会主題とし、学校図書館の運営や連携に焦点を当て、さまざまな実践紹介や研究成果の発表を行います。予測困難な時代においても、子どもたちが自分の力で「最適解」を求められるよう、これからの学校図書館の在り方について探究していきたいと考えています。

4 主 催 山口県学校図書館協議会 山口県小学校教育研究会
山口県中学校教育研究会 山口県高等学校教育研究会

5 後 援 山口県教育委員会 山陽小野田市教育委員会

6 日 程

9:40	10:00	10:30	12:00	13:00	14:30	16:10
受付	開会 行事	研究発表Ⅰ 山陽小野田支部 光支部	昼食 休憩	研究発表Ⅱ 高等学校	指導 助言	記念シンポジウム 閉会 行事

7 研究発表

研究発表Ⅰ

<p>【山陽小野田支部】</p> <p>山陽小野田市立埴生小中一貫校 教諭 瀬戸口 悠</p> <p>山陽小野田市立厚陽小中一貫校 教諭 吉村 美貴子</p> <p>山陽小野田市立高泊小学校 教諭 神代 結里子</p>	<p>本とつながる 本でつながる 山陽小野田市学校図書館</p>
<p>【光支部】</p> <p>光市立室積中学校 教諭 吉中 恭子</p>	<p>生涯の学習基盤となる生徒の読書活動の充実をめざす取組 ～学校図書館の公立図書館との連携～</p>

研究発表Ⅱ

<p>【高等学校】</p> <p>山口県立下関北高等学校 教諭 鈴木 太龍</p>	<p>学校図書館に足を運んでもらうために</p>
---	--------------------------

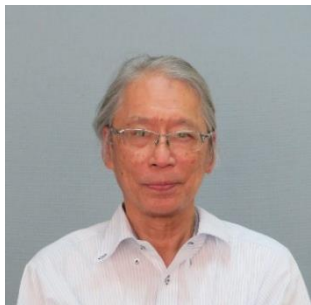
8 指導助言者

山口県立山口図書館 読書推進グループ 指導主事 西浦 陽子 様
指導主事 牛見 沙也香 様
山口県教育庁 高校教育課 普通教育班 指導主事 武部 拓郎 様

9 記念シンポジウム

演 題 「本は∞無限の楽しい場」

山本 安彦（やまもと やすひこ）氏



岩国市出身。山口県立山口図書館勤務の後、山陽小野田市立図書館長に就任。

山口県子ども文庫連絡会会長やこどもと本ジョイントネット21・山口代表として、長年にわたり山口県内の児童サービスの振興や子どもと本を結ぶ活動に携わる。

絵本『おかあさんになったノラ』（ほんだてつや／絵 芸文社）、『山口県子ども読書関連総合年表 1903～2023』などの著作がある。

村中 李衣（むらなか りえ）氏



山陽小野田市出身。児童文学作家、ノートルダム清心女子大学教授を経て、山口学芸大学客員教授。大学院修了後、慶應大学医学部病院管理学教室にて読書療法の研究に着手。小児病棟の子どもたちと絵本を介したコミュニケーションの可能性について考える。その後 0 歳から 100 歳まで、いろいろな場所でいろいろな人との絵本の読みあいを行いながら、児童文学の創作を続ける。近年は刑務所での絵本を仲立ちとした教育プログラムづくりや、受刑母とその子どもとのコミュニケーションを支える活動を実施。2017 年、第 1 回日本絵本研究賞受賞。

『おねいちゃん』理論社、野間児童文芸賞。『チャーシューの月』小峰書店、日本児童文学者協会賞。『あららのはたけ』偕成社、坪田譲治文学賞。『こくん』童心社、JBBY 賞バリアフリー部門等の創作のほか『女性受刑者とわが子をつなぐ絵本の読みあい』かもがわ出版や『立ちあう保育だから「こぐま」にいる』ミズノ兎ブックス等の著作も多数。

横山 眞佐子（よこやま まさこ）氏



下関市出身。1979 年に子どもの本の専門店「こどもの広場」を開き、1989 年 株式会社「こどもの広場」に改組する。子どもと大人のための講演会や教育シンポジウム、絵本の文化を紹介する展覧会（安野光雅展、魔女の宅急便展など）なども企画・運営している。

1995 年から学校の図書室を活性化し、子どもたちと本を結ぶために「本を選ぶ会 選書会」を企画・実践。下関市内外の小中学校を中心に、多くの学校を訪問、厳選した新刊 500 冊近くの本を並べて、児童生徒にブックトークなどを行なっている。

1996 年、下関市芸術文化振興奨励賞を受賞。現在、下関市子ども・子育て審議会委員、下関市立美術館運営委員。元梅光学院幼稚園園長。子どもの本、子どものための本の翻訳もする。2013 年、久留島武彦文化賞を受賞。

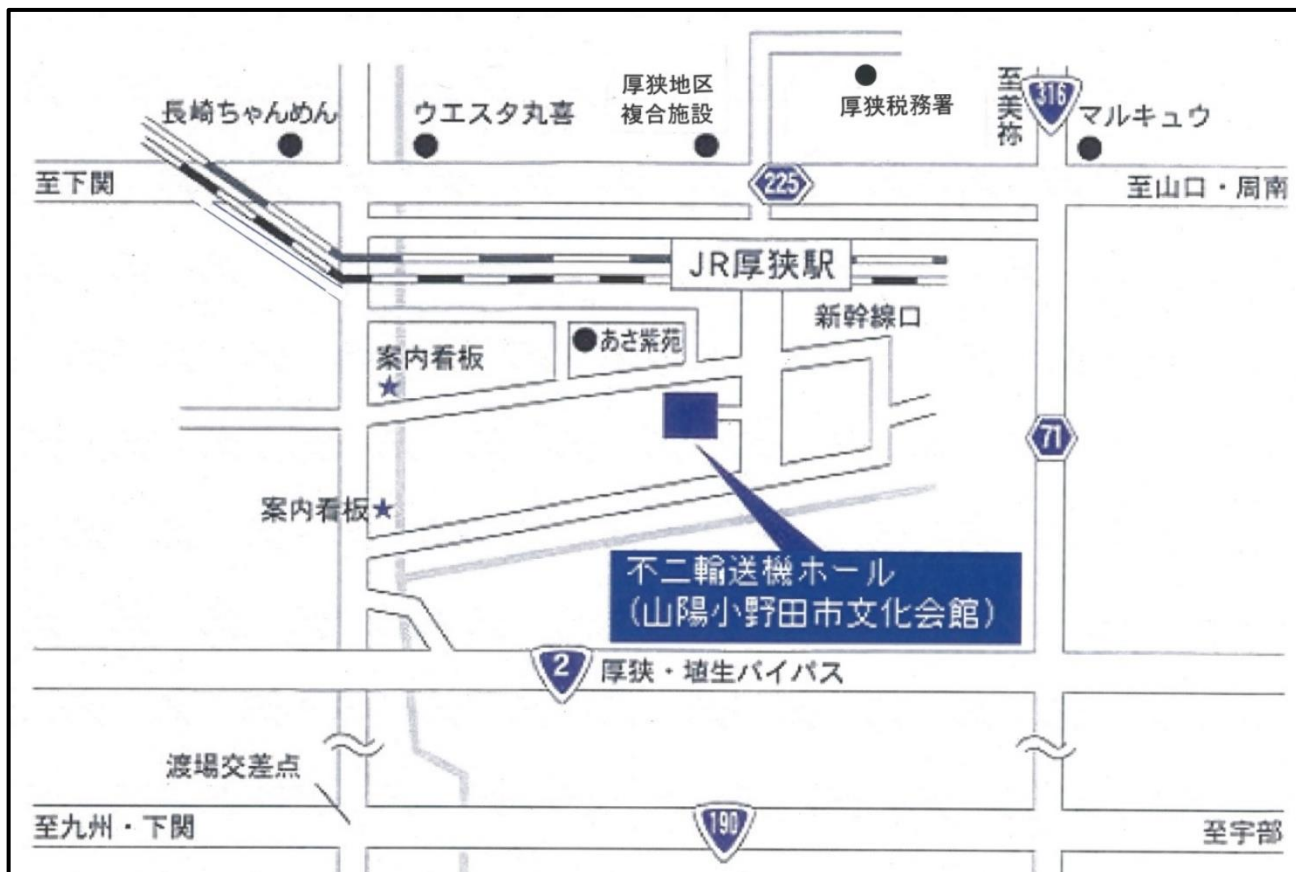
10 参加申し込み

- (1) 申込期限 令和6年10月11日(金)まで
(2) 申込方法 下記URL、またはQRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/SN2d2doRRJU4qz4m7>



- (3) 参加費 無料 (昼食は各自で用意ください)
(4) 会場案内



○アクセス方法 公共交通機関 JR厚狭駅新幹線口より 徒歩3分

自家用車 中国自動車道美祢西インターチェンジより 約10分
中国自動車道美祢インターチェンジより 約20分
山陽自動車道埴生インターチェンジより 約7分
山陽自動車道小野田インターチェンジより 約7分

※会場敷地内に250台程度駐車することが可能

11 問い合わせ先 大会実行副委員長 吹上 静恵 (山陽小野田市立高泊小学校 校長)
TEL: 0836-83-2118 e-mail: takatomari-sho@city.sanyo-onoda.lg.jp
— 山口県学校図書館協議会ホームページ <https://ysla.jp> —